

あいち産業労働ビジョン 2016-2020 の取組状況

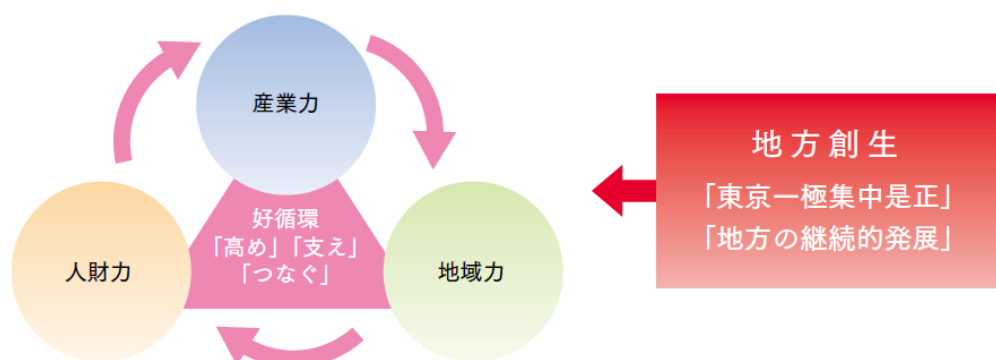
あいち産業労働ビジョン 2016-2020 の概要

◆産業力・人財力・地域力を「高め」「支え」「つなぐ」活力と持続力ある日本一の「産業首都あいち」づくり

○次世代産業を中心に、強みであるモノづくりの競争力をさらに磨き上げるとともに、モノづくりに関連したサービス産業などを中心に第3次産業の振興を図ることで、「産業力」をより強化し、内外から人財・企業・資源を集める。

○地域を支える中小・小規模企業を核として、商店街、地場産業といった地域密着産業の振興を図ることで、「地域力」をより強化し、地域創生に資する。

○次世代産業を支える人材育成や多様な人材の活躍できる環境の整備を通じて、「人財力」を強化し、更なる産業の振興を目指す。



産業力・人財力・地域力の「好循環」により、日本一ビジネスがしやすく、働きやすく、暮らしやすい環境をつくり、活力にあふれ、サステナブル(持続可能)な地域の実現を目指す。

◆計画の推進体制

○計画の進捗を的確に管理するためのフォローアップ会議を開催し、「県や関係機関が実施すべき目標（進捗管理指標）」及び「その結果、目指すべき地域の姿（成果達成目標）」に基づく評価を行う。

成果達成目標

※策定時を下回る指標

施策の柱	項目	策定時(2015年)	現状値(時点)	昨年度会議時点	目標値
1 中小・小規模企業の 企業力強化	開業率	5.24% (2013年度)	6.47% (2016年度)	5.98% (2015年度)	6% (2020年度までに)
	中小企業の製造品出荷額 等の全国シェア	8.59% (2013年)	8.56% ※ (2015年)	8.61% (2014年)	10% (2020年までに)
2 地域創生に資する 産業の振興	県内総生産の全国シェア	6.9% (2012年)	7.4% (2015年度)	7.4% (2014年)	7.5%程度 (2020年までに)
3 次世代産業の育成・ 強化	製造品出荷額等の全国シ ェア	14.4% (2014年)	14.9% (2016年)	14.4% (2014年)	14.5%程度 (2020年までに)
	次世代自動車の県内新車 登録販売の割合	43% (2014年度)	47.23% (平成29年1月～ 12月)	30% (2015年度)	60% (2020年度までに)
	中部地域の航空宇宙産業 の生産高	0.87兆円 (2013年度)	1.10兆円 (2015年)	0.95兆円 (2014年度)	1.18兆円 (2020年度までに)
	ロボット製造業の製造品出 荷額等の全国シェア	21.9% (2013年)	21.7% ※ (2014年)	21.7% (2014年)	30% (2020年までに)
4 研究開発機能・立地 環境の整備	学術・開発研究機関事業所 数の全国シェア	4.9% (2012年)	4.6% ※ (2014年)	4.6% (2014年)	5.5%程度 (2020年までに)
	次世代成長産業などの企 業立地件数	6件 (2014年度)	23件 (2018年1月末)	8件 (2016年度)	40件 (2020年度までに)
	外国企業の誘致件数	7件 (2014年度)	18件 (2018年1月末)	5件 (2016年度)	35件 (2020年度までに)
5 グローバル展開への 支援	輸出額の全国シェア	20.1% (2014年度)	20.2% (2016年度)	20.3% (2015年度)	21.0%程度 (2020年までに)
6 観光の促進	来県者数	3,817万人 (2014年)	4,506万人(外国 人:228万人) (2016年)	4,247万人 (2015年)	5,000万人(外国人: 400万人) (2020年までに)
	観光消費額	7,270億円 (2014年)	8,320億円(外国 人:675億円) (2016年)	7,813億円 (2015年)	1兆円(外国人:2,500 億円) (2020年までに)
7 就労の促進・能力の 開発	労働力人口の全国シェア	6.1% (2014年)	6.0% ※ (2017年)	6.0% (2016年)	6.2%程度 (2020年までに)
	労働力率	62.7% (2014年)	62.4% (2017年)	62.0% (2016年)	62.0%程度 (2020年まで2012年 水準を維持)
	高齢者(65歳以上)の労働 力率	23.8% (2014年)	22.9% ※ (2017年)	23.0% (2016年)	24.8% (2020年までに)
	民間企業における障害者の 法定雇用率達成	1.74% (2014年)	1.89% (2017年)	1.85% (2016年)	2.3% (2020年までに)
	若者(25～44歳)の完全失 業者数	51,000人 (2014年)	42,000人 (2017年)	44,000人 (2016年)	50,000人以下 (2020年までに)
8 活き活きと働ける環境 づくり	年次有給休暇取得日数	8.2日 (2014年)	8.9日 (2016年)	8.9日 (2016年)	10日 (2020年までに)
	女性(25～44歳)の労働力 率	70.1% (2014年)	73.1% (2017年)	72.4% (2016年)	73.1% (2020年までに)
9 産業人材の育成・強化	技能検定合格者数	7,800人 (2012～2014 年度平均)	8,442人 (2016年度)	7,930人 (2015年度)	8,500人/年度

中小・小規模企業の企業力強化

主な取組

○各項目の数値は、計画期間中、平成 29 年度時点の主な累計実績（原則、平成 30 年 1 月末時点）

◆中小・小規模企業に対する支援施策の充実

- 各種展示会への出展を通じた販路開拓の支援：出展支援件数 112 件
- 創業プラザあいちでの創業支援：創業件数 34 件
- 県制度融資による金融支援：創業関連資金の融資件数 1,274 件

◆中小・小規模企業に対する支援体制の強化

- （公財）あいち産業振興機構での相談対応：ワンストップ窓口対応件数 16,056 件
- 県と地域金融機関との連携に係る勉強会の開催：開催回数 6 回
- 支援機関等と連携した中小企業施策説明会の開催：開催回数 24 回

トピックス（29 年度）

【あいち事業承継ネットワーク】

経営者の高齢化が進む中、技術力や独自ノウハウを有する中小企業の円滑な世代交代を実現するため、事業承継は中小企業支援の重要なテーマとなっています。愛知県では、平成 29 年度に（公財）あいち産業振興機構を事務局とし、中小企業支援機関 137 社からなる「あいち事業承継ネットワーク」を構築しました。県内中小企業 3,249 社（平成 30 年 1 月末実績）を対象とした事業承継診断をはじめ、相談対応、専門家による個別支援、セミナー等を通じて、中小企業の計画的な事業承継を促進しています。



地域創生に資する産業の振興

主な取組

◆商店街をはじめとした地域の商業・サービス業などの活性化

- 産官学連携による商店街の活性化に向けた取組：取組件数 9 件
- サービス産業に関する経営革新の承認：承認件数 202 件

◆地場産業など地域産業の活性化

- 繊維・窯業産地企業の販路開拓を支援するための若手デザイナーの招へい：招へい人数 5 人
- 愛知ブランド企業の国内外へのアピール支援：Web サイト・ページビュー件数 1,452 万件（単年）

◆地域へ人や産業を呼び込む取組の推進

- 輝く女性ソーシャルビジネスプランコンテストあいちの開催：応募 109 件 知事賞 6 件

トピックス（29 年度）

【あいち UIJ ターン支援センター】



少子高齢化に伴う人口減少や中小企業を始めとする県内産業の人手不足に対応するためには、首都圏等県外からの UIJ ターンを促進する必要があります。このため、本県では、東京と名古屋に「あいち UIJ ターン支援センター」を設置し、県内企業や地域の魅力を発信するとともに、就職イベントの開催や首都圏等大学を訪問し、UIJ ターン希望者を掘り起こし、個別相談等の就労支援を実施しています。センター利用者からは「愛知県の良いところを知ることができた。」「愛知の魅力ある企業に就職することができた。」といった声が寄せられています。（※写真は、就職イベントの様子）

次世代産業の育成・強化

主な取組

◆次世代自動車分野の産業振興

- 自動車分野における中堅・中小企業への技術指導・相談対応：延べ対応件数 36,570 件
- 水素ステーションの整備促進：17 基 18 箇所（整備中・実証用含む）

◆航空宇宙産業の振興

- 航空機製造技能者の育成：航空宇宙産業の人材育成研修 受講者数 3,269 人日
- 航空機製造の品質認証取得支援：認証取得数 164 件

◆ロボット産業の振興

- あいちロボット産業クラスター推進協議会の運営：会員数 446 社・団体

◆内需型産業の振興

- 医療機器の展示商談会「メディカルメッセ」でのマッチング促進：マッチング件数 109 件（単年）

トピックス（29年度）

【自動運転実証実験の実施】



県では平成 28 年度より、アイサンテクノロジー株式会社と事業委託し、名古屋大学、アイシン・エイ・ダブリュ株式会社等との連携の下、公道を使用した自動運転実証実験を実施（総実走距離約 2,800km）し、高精度 3D マップなど自動運転システムに関する技術・ノウハウを蓄積してきました。今年度は、県内 10 市町の協力を得て、最新の技術開発動向や国の規制緩和の動きを踏まえ、最先端の遠隔型自動運転システムを含む実証実験を実施しました。

平成30年度は、複数台の遠隔型自動運転車両の同時使用など、より実用化に近い形で実証実験に挑戦するとともに、県民の皆様の自動運転技術に対する社会的受容性の醸成に努めてまいります。

研究開発機能・立地環境の整備

主な取組

◆イノベーションを創出する基盤づくり

- あいち産業科学技術総合センターでの技術支援：依頼試験、技術相談・指導 165,254 件（単年）

◆産学などの協働・連携を推進する仕組みづくり

- 産学行政連携の重点研究プロジェクトの成果活用・実用化支援：13 件（H29.12 月末累計）

◆知的財産戦略の推進

- 知財総合支援窓口における知的財産に関する相談対応：相談件数 4,232 件（単年）

◆立地環境の整備

- 産業立地セミナーによる企業立地説明会：延べ参加者数 709 人（単年）

トピックス（29年度）

【あいち発明の夏 2017】

県では、生涯にわたって多くの発明をなし、本県産業の礎を築いた豊田佐吉翁が明治 31 年 8 月 1 日に日本初の動力織機の特許を取得したことから、8 月 1 日を「愛知の発明の日」と定めています。平成 29 年は、豊田佐吉翁の生誕 150 周年にあたることから、昨年 7 月・8 月を「あいち発明の夏 2017」と銘打ち、トヨタ自動車株式会社名誉会長の豊田章一郎氏を講師にお迎えしての「愛知の発明の日」記念講演会や、世界青少年発明工夫展 2017、ロボカップ 2017 名古屋世界大会といった大規模イベントを一体的に開催しました（【参加者数・来場者数】「愛知の発明の日」記念講演会：570 人、世界青少年発明工夫展 2017：32,061 人、ロボカップ 2017 名古屋世界大会：129,615 人）。また、県内各地の協賛行事とも連携し、地域一体となって科学技術や創意工夫を大切にする気運の醸成を図りました。引き続き、「愛知の発明の日」等を通じて、広く県民の皆様に、創意工夫や知的財産の重要性を考えていただく機会を提供してまいります。



主な取組

◆国際ビジネスの戦略的展開

○中小企業等外国出願支援事業による知財保護の支援：海外知財出願の支援件数 45 件（単年）

◆支援体制の強化

○海外産業情報センター、愛知県サポートデスクにおける総合的支援：

海外産業情報センターでの支援 276 件、サポートデスクにおける相談件数 101 件（単年）

○あいち国際ビジネス支援センターによる海外展開支援：相談件数 669 件（単年）

トピックス（29 年度）

【愛知県インドネシアサポートデスク】

インドネシア経済担当調整大臣府との経済交流に関する覚書締結を契機として、同国との経済交流を推進するため、平成 30 年 1 月、ジャカルタ市内に「愛知県インドネシアサポートデスク」を開設しました。インドネシアビジネスに関する相談対応、セミナーや交流会を通じたネットワーク形成、メルマガによる情報発信などを通じてインドネシアへの進出や現地で活躍する愛知県企業を支援してまいります。



主な取組

◆観光の促進

○訪日外国人旅行者の誘客：アジア大商談会における招請実績 23 社 24 名（単年）

○武将観光の推進：サムライニンジャフェスティバル 2017 来場者数 35,000 人（単年）

○首都圏及び関西圏へのプロモーション推進：観光物産展の開催回数 19 回

主な取組

◆全員参加に向けた就労支援、人材の確保・定着

○中小企業の魅力発信を通じた県内企業と県内学生のマッチング：マッチング数 4,161 人（単年）

○ヤング・ジョブ・あいちによる若年者雇用対策：利用者の就職者数 6,215 人

○再就職支援セミナー等を通じたシニア層の就労支援：セミナー参加者数 157 人（単年）

◆就労支援体制の強化

○あいち労働総合支援フロアによる情報提供・相談対応：フロア利用件数 42,715 件（単年）

○大学と行政による大学生等就職支援協議会を通じた体制強化：協議会開催 2 回（単年）

トピックス（29 年度）

【障害者の雇用促進に向けた取組】



平成 30 年 4 月 1 日から、法定雇用率が引き上げられるなど、障害者雇用の促進に対しより一層の取組が求められます。県では、平成 28 年 7 月に「愛知県障害者雇用企業サポートデスク」を設置し、障害者の雇用や、職場定着等に関する企業の皆様からの相談に対応しております。また、平成 29 年度には、初めて障害者を雇用する中小企業に 60 万円の助成を行う「中小企業応援障害者雇用奨励金」を創設しました。この他、セミナーや、就職面接会など、障害者の雇用促進に向けたきめ細かな支援に取り組み、障害のある人が障害のない人と同様にその能力を発揮し、特性に応じた職業に就くことができるよう、雇用環境の整備を図ってまいります。

主な取組

◆生き活きと働ける環境づくり

- 愛知県ファミリー・フレンドリー企業の登録促進：新規登録企業増加数 80 社（単年）
- 労働関係法令等の普及啓発：啓発資料の配布 5,000 部（単年）
- 企業におけるメンタルヘルス対策の促進：セミナー参加者数 288 人（単年）

トピックス（29 年度）

【働き方改革の推進】



多様な働き方・効率的な働き方の実現を目指す「働き方改革」は重要な社会課題となっています。県では、毎年「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動」を通じて、多くの企業に御賛同をいただきながら「愛知県内一斉ノー残業デー」をはじめとする定時退社や年次有給休暇取得促進、育児・介護との両立支援等の取組を推進してきました。

今年度は、職場環境の改善に取り組む企業に対するアドバイザー派遣や、「仕事と家庭のインターンシップ in あいち」といった新たな取組も実施しました。当該インターンシップは、就業体験に加え、子育て中の従業員の家庭を訪れ、家事や育児も体験することで仕事と家庭の両立について理解を深めていただくもので、参加した学生からは「まずはチャレンジして、自分なりの両立スタイルをつくればよいと学んだ」といった感想が寄せられました。

横断的な
施策

産業人材の育成・強化

主な取組

◆高度なモノづくりに向けた人材の育成支援

- 技能五輪全国大会、全国アビリンピックへの選手派遣：技能五輪 196 人、アビリンピック 15 人（単年）
- 県立高等技術専門校の施設整備：高等技術専門校のあり方と機能充実について方向性を決定

◆中小・小規模企業の人材育成・能力開発支援

- 産業人材育成ポータルサイトの運営：トップページビュー件数 14,234 件（単年）
- 産業人材育成・確保促進 PT 会議等、産業人材育成に係る取組の推進：会議開催 2 回（単年）
- 愛知県職業能力開発協会による職業訓練を通じた企業の人材育成支援：訓練受講生数 1,678 人（単年、2018 年 3 月末見込み）

◆キャリア教育・職業教育の推進

- あいち技能マイスター等の熟練技能者を工業高校等へ派遣：派遣日数 104 人日（単年）

トピックス（29 年度）

【技能五輪全国大会・全国アビリンピックの 2 年連続開催が決定】

平成 30 年 1 月 25 日に、2019 年度全国アビリンピックを本県で開催することが決定しました。これまで決まっていたものと合わせて、技能五輪全国大会と全国アビリンピックを 2019 年と 2020 年の 2 年連続で愛知県において開催することとなりました。今後、関係機関と連携しながら、両大会 2 年連続開催に向けた諸準備を進めてまいります。



【2023 年技能五輪国際大会の日本・愛知への招致に向けて】

平成 29 年 9 月 22 日、2023 年技能五輪国際大会を日本・愛知に招致する方針が国（厚生労働省）より示されました。今後は、招致の実現に向け、国や関係機関と連携のもと、国際大会の運営団体であるワールドスキルズインターナショナルやその加盟国などに対して、招致の意思があることを発信するとともに、シンポジウム等の実施を通じて、より多くの方に技能五輪国際大会や技能の重要性を知っていただき、招致機運を高めてまいります。